

マザーハウス

たより

2022

8月号

あなたは愛されるため、また、愛するために生まれてきたのです。
あなたが必要であり、大切です。マザーハウスはあなたの家族です。

～受刑者の皆さんへ～

♪お問合せが多い内容(例:文通相手の追加を希望したのにまだ決まっていない等)は、返信にかえてお知らせ欄で回答することがありますので、毎月ご確認頂くようお願い致します。

♪移送・出所される方は必ずご一報下さい。MLP(文通)に参加している方は文通相手へのお手紙のみ出して頂ければ大丈夫です(差出人欄の住所で確認できるため)。

- 2 理事長挨拶
- 4 社会の声
- 5 つぶやき!
- 6 ささきみつおコーナー
- 7 育児日記
- 7 塀の中のたより
- 10 塀の外のとより
- 13 刑務所アート展情報
- 19 ラブリー-DAYS
- 20 健康相談窓口
- 21 回復プログラム 実践
- 22 プリズムアート倶楽部
- 23 行事予定

表紙…
エイル・
Nさん

理事長挨拶

皆さん、いかがお過ごしでしょうか？コロナと暑さの猛威の中、健康には十分に気を付けて下さい。私はというと、このところハードな日々を過ごしています。

マザーハウスを立ち上げてから十年が経ちますが、とても嬉しい出来事がありました。私と交流のあるYさんの息子さんと、小学四年生（受賞時）のカゲチヨ君が、第7回社会を明るくする運動作文コンテスト（八王子市）で最優秀賞を受賞しました。私はカゲチヨ君が真の愛を知っているから書けた文章であると思います。愛とは、悲しみも、苦しみも、困難もある中で、人を大切に、共に生きて行くことであるように感じます。

ここで、カゲチヨ君の作文を皆さんにご紹介したいと思います。

☆

「ともに生きる仲間たち」

ぼくが出会った引っ越し屋さん

ぼくは、今年の3月に横浜市から八王子市に引っ越しすることになった。

引っ越しが決まった後、引っ越し屋さんからダンボール以外にゼリーやキャラメルなどのお菓子がたくさん届いた。優しい人たちだなあと思った。

そして、いよいよ引越しの日。ワクワクして待っていると、引っ越し屋さんが家にやって来た。元気で明るい五人の男の人たちで五人とも、ぼくに優しく声をかけてくれた。五人はとても力持ちで、重い荷物をたくさん運んでくれた。

荷物を載せるトラックは大きくて立派な二トントラックだった。ぼくは、昔から大型トラックが好きで、いつか乗ってみたいと思っていた。そんなぼくに、引っ越し屋さんの一人がトラックに乗る？と声をかけてくれた。ぼくは、乗ります！と即答した。

こうしてトラックの助手席に乗って、新しい家に向かうことになった。トラックに乗る夢がかなったのだ。車体が高いため、トラックから見える景色は絶景だった。運転していた引っ越し屋さんは、ぼくにずっと優しく話しかけてくれた。

引っ越し屋さんは朝早くから夜遅くまで、ぼくの家族みんなのために、一生懸命仕事をしてくれた。引っ越しが終わった後、ぼくは引っ越し屋さんにお礼の手紙を書いた。しばらくして、お母さんから、引っ越し屋さんが手紙ありがとう、とても勇気づけられたよと言っていたことを聞き、うれしかった。

実は、引っ越し屋さんは全員、過去に何か犯罪をしたり、刑務所に入ったりしたことがある人たちだと後から知った。引っ越し屋さんはマザーハウスという団体の人たちで犯罪をしたり、刑務所から出てきたりした人たちが二度と犯罪をくりかえさないように、いろいろな活動をしているそうだ。引っ越しの仕事も活動の一つで、お母さんとは仕事を通じて知り合ったという。

引っ越し屋さんの過去をお母さんから聞いたとき、ぼくは、まったく気にならなかった。なぜなら、引っ越し屋さんは、ぼくに優しくしてくれて、ぼくの家族みんなのために一生懸命働いてくれたからだ。ぼくは、過去のことよりも、今をどう生きるかが大切だと思う。ぼくは、犯罪や非行をしてしまうのは、その人だけのせいではないと考えている。家族とうまくいかなかったり、本当の仲間がいなかったり、ひとりぼっちだったりしたために、犯罪をしてしまう人も多いのではないだろうか。

マザーハウスには過去にひとりぼっちだった人たちがたくさん集まっているそうだ。犯罪をくりかえしてしまったり、また被害者が出てしまうほか、法律で禁止されている薬を使った場合などは自分を傷つけることになってしまう。そのため、家族や友達に悲しい思いをさせてしまうかもしれない。また、まわりの人たちから信用されなくなり、またひとりぼっちになってしまいかもしれない。

犯罪を二度とくりかえさないために必要なことは、まず、過去に犯罪をした人がひとりぼっちにならないようにすることだと思う。そのためには、ただ一緒にいるだけの仲間ではなく、信じられる本当の仲間をつくることが大切だ。また、仕事をしたり、誰かの役に立ったりしてありがとうと言ってもらえる機会をつくることも必要だろう。感謝されれば、だれでもうれしくなり、立ち直ろうと思えるのではないだろうか。そして、がんばって仕事をしたり、自分やまわりのことを大切に思う気持ちを持ち続けたりすれば、きっと人生が変わると思う。

引越し屋さんの一人は、昔いた会社で、犯罪をした人だからという理由で仕事をやめさせられたことがあるそうだ。ぼくは、犯罪をした人だからとさけるのではなく、立ち直ろうとしている人たちを支えたい。社会も、そのような人たちを積極的に受け入れるべきだと思う。人が人に優しくすれば、相手の人

も優しくなり、ひとりひとりが元気になるはずだ。そうすれば、社会全体が明るくなり、犯罪や非行をした人たちも立ち直ることができるのではないだろうか。

☆

私はカゲチヨ君から大きな愛と力を頂きました。どんなに苦しく困難な道であろうが、「今をどう生きるか」を決して忘れずに歩んで行こうと思います。多くの方がカゲチヨ君の作文と出会い、自分たちが何をすべきなのか？真剣に考えて行動を起こして欲しいです。他人事ではなく、自分だったらどうするかが重要なのではないのでしょうか。キリスト者として、キリストならどうするだろうかを一人ひとりがよく考えることが大切であると思います。愛の反対は無関心であり、この無関心社会が問題であると感じます。

先日、丁刑務所にて、ある無期囚が重篤であるとの連絡を受けて、知人のブラザーと私で面会に行きました。また、所長の特別許可で、教誨師であるブラザーに洗礼を授けて頂きました。まさにキリストの洗礼であると思います。高松教区の司教様にもお願いをして、神様のもとに行かれた時には教会の納骨堂に入れて頂くことになりました。

六月のY刑務所での洗礼もそうですが、自分が犯した罪と向き合う中でキリストと出会い、聖書を通してキリストの生き方を学ぶのだと思います。受刑者の一人ひとりがこれらの人生をどう生きるのかが重要であると思っています。

私のところに色々な訴えが届きますが、人権に関することは、各弁護士会の人権擁護委員会に書面を送るようお願い致します。また、納得できないことがあれば、衆参の法務委員会に詳細な手紙を書いて送って下さい。自身のことであるのに、何でもかんでもマザーハウスをお願いするのは違うと思います。

ほかに、「住所や連絡先を調べて欲しい」と言ってくる受刑者がいますが、そういったことは全てフランススコ事業部が担当しているので、そちらに依頼して下さい。何でも事務局が無償でやっていたら、通常の業務が全く進まないからです。また、アマゾンからの直送を依頼する人がいますが、刑務所の規則を含め、様々なことを検討した結果、当法人ではやらないことに決定していますので、ご了承下さい。

ある受刑者から手紙を頂き、「年金関係のご指導通り、時間はかかりましたが全ての免除申請を承認してもらい、出所まで5年間、おかげさまで免除がなされ、出所後、残りの

5年を納めれば受給可能です。有難うございました」とありました。社会では当たり前前行動であると思います。それを刑務所の中でも実践することが大切であると感じます。

社会復帰した仲間が、毎月のたよりの発送をしていて、「これはとても大変ですね。受刑中は、送って頂いてただ読むだけでしたが、こんなにもコストがかかるとは知りませんでした。多くの受刑者が郵送されてくるのが当たり前と思っているのだと感じます。発送作業に関わってその大変さがよく分かりました」と言っていました。自分のことばかりではなく、相手のことも考えることが大切であると思います。自分が実践していないにもかかわらず、色々なことを言ってくる人がいますが、同じ土俵に立って実践してから言えれば良いのです。口先だけなら誰でも言えるし、そのような言葉は相手には響かないということが、その人には通じないのだと思います。それは社会との繋がりが無いからであると感じます。

社会の人々も刑務所に無関心であり、刑務所も社会には無関心です。受刑者の皆さん、皆さんはこれからどこで生きて行くのですか？社会で生きて行くのです。社会は甘くないです。それは皆さんが一番よく知っていると思います。刑務官は皆さんと関わって下さいます。何故なら、仕事であり、給料が頂けるからです。社会はどうですか？大半の人が

皆さんと関わりを持ちたくないと思っているのです。そのことをよく考えた方が良いと思います。だから就職も難しいし、社会復帰も難しいのです。だから二人に一人がまた、再犯をするのです。どうしてなのか？受刑者一人ひとりが真剣に考えるべきであると思います。皆さんには被害者がいるのです。

社会の声

学生の感想

■昨年十二月、専修大学法学部「法社会学Ⅱ」での特別講義に寄せられた感想をご紹介します。

—つづき—

本日の講話をお聞きした中で、「マザーハウスは刑務所よりも厳しいと言われている。

なぜなら、自由だから」という旨の言葉が特に印象的でした。私は規律の厳しい刑務所の方が厳しいと考えていたからです。しかし、視点を変えて考えてみると、刑務所での暮らしは、基本的に刑務官の指示に従うだけだったため、与えられた任務をこなせば良いという意味では確かに楽であると思いました。ただし、社会への復帰という面からみれば、刑務所においても自立支援活動を行うべきであり、自分で考えて行動する機会を失わせる点に大きな課題があると感じました。

それと同時に、社会の中で「活躍できる機会」と「居場所」をいかに確保するかが、出所者の社会復帰への鍵となっているため、社会の受け入れ体制を整えることが再犯を防止することになり、結果として社会秩序の維持につながると思うので、これらの課題を解決するために真剣に取り組んでいくべきだと思います。

☆

受刑者のイメージはなんとなくこわいのかと思っていましたが、五十嵐さんの最後の言葉を聞いて、話してみるまで判断できないなと思いました。

—つづき—

「塀の中のたより」のポリューム少なめ版です

つぶやき！

たよりを毎月熟読させて頂いております。社会の方々の思い・言葉、受刑者の方の思い・言葉が様々なことを考えさせてくれる機会となっております。

受刑者は施設が違って同じようなことを繰り返していると感じ、情けない思いです。自分たちで自らを苦しめるようなことを繰り返し、向き合わなくてはならないこと、考えなくてはならないことが蔑ろにされているように感じます。そのような状況であっても、乱されず、やるべきことを積み重ねていこうと心掛けてはいますが、上手くいかないことが多く悔しい毎日です。自分に負けたくありません。環境や他者や出来事にはなく、弱い自分に。負けたくない、と言っている時点で、負けているのかも知れませんが…。

たよりの中で私が一番楽しみにしているトピックがあります。それは育児日記です。子どもの可愛い様子や言葉を何度も読んでいます。思わず微笑んでしまいます。

事件を起こした時、私の娘も五十嵐さん一家の次女Rちゃんと同じ年でしたので、写真

やエピソードが自分の娘と重なり、何とも言えない想いです。妻や娘がいて、幸せだったはずなのに事件を起こし、様々なことを傷つけ、手放すことになったのは私自身の弱さ、甘さのせいです。自分を変えなくてはいけない、成長しなくてはならない、と思わせて頂ける大切なトピックです。

(O刑 Uさん)

☆

私は二十歳から捕まり続け、今は四度目の懲役なのですが、留置所も合わせれば二十年も無駄な人生を過ごしてしまっています。

自分でも、こんな人生では駄目だ、と分かっているのですが、出所すると独りぼっちなのと、もともと幼い頃から万引きや空き巣を繰り返す窃盗癖があり、出所して毎日仕事しても、お金を持っていない、宝探しのようなスリルを求めてしまうのか、犯罪を繰り返してしまうのです。

(H刑 Fさん)

☆

一点、できたら採用して頂けると嬉しいことを書きます。

獄中POSTシリーズのポストカードについてです。ちよつと趣旨と反するかもしれないのですが、「クリスマス」や「ありがとう等の感謝」を題材としたものは散見できて、いくつか購入させて頂いたのですが、「誕生日の祝い」を題材としたものは無いのです。僕は本当に絵心というものが全く無くて、そういうものを描くことができないのですが、母親（もっとも、返事もなく相手にもされていないのですが…）に送るバースデーカードや感謝を伝えるカード、クリスマスカード等に使用したいのです。

もしそういった絵画があったら、ポストカードにして頂きたいのです。どうか宜しくお願い致します。

(M刑 Fさん)

☆ということで、獄POSでは、バースデーカード風の絵画を募集中です☆



一兵さん

ささきみつお コーナー

時が良くても悪くても

♪ ブログ : <http://ixsasaki.ti-da.net/>

一・福音伝道ができない時が来る

「福音の伝道が法律で禁止されました。どうか祈ってください」。

何年前かに、マレーシア最大のプロテスタント教会を立ち上げたレイモンド・ムーイ牧師からこう言われた。

マレーシアはイスラム教を国教としているが、イギリスの植民地から独立したこともあって、キリスト教には比較的寛容であった。

しかし、キリスト教の急速な拡大を恐れたイスラム教勢力の圧力で、福音の伝道ができなくなった。共産圏においても同様に、キリスト教の伝道を禁止する地域が増えている。

コロナ騒動に続いて、今年に入ってから、ロシアとウクライナの戦争勃発で、世界はまたしても大きな不安と恐怖に襲われている。特に、ウクライナと同じような歴史的、地政学的問題もからむ政治情勢にある日本は、戦争に巻き込まれる現実の可能性がますます高まってきている。もはや抽象的な戦争の是非論を語る時は過ぎ、いかにして具体的に国土を防衛するかという臨戦態勢の段階に入っている。

戦争が始まれば、福音伝道どころではなくなるであろう。日本が非キリスト教国の支配に落ちたら、クリスチャンの迫害と投獄が始まるであろう。人々の愛が冷え、世の終末が来ることは聖書で繰り返し預言されている。このような時勢の中で、私たちはどうしたら良いのだろうか？

国家、社会が混乱し、人々の心が動揺している今こそ、永遠の命と神の揺るぎない平安が得られる福音を宣べ伝えなければならぬ。今こそ、福音を伝える絶好のチャンスである。

私たちは昼の内に働かなくてはならない。夜が来ると働けなくなる。自由に伝道できる時に福音を伝えなければ、諸外国の例のように、福音伝道ができない時が必ず来る。

二・校門で渡された一枚のチラシ

私が大学生の頃は、安保条約反対闘争の最中で、左翼運動の嵐が吹き荒れていた。「左翼にあらざるば人にあらず」という時代であり、学内は騒然とし、授業はそっちのけで学内外の左翼活動に駆り出された。

連日、国会を取り囲む数十万人の激しいデモが展開される等、まさに革命前夜のような雰囲気であった。

そのようなある時、大学の校門で一枚のチラシをもらった。「今度、新しく英会話サークルを始めます。あなたも参加してみませんか」と書いてあった。心が殺伐としていたので、気晴らしにと思い参加したところ、それは英語で聖書を読む会であった。

唯物論一辺倒で宗教等には全く関心なかった私は、一瞬、「騙された！」と後悔したが、他にはない温かい雰囲気があったので、続けて参加した。その一枚のチラシがきっかけで、後に私はキリストを信じて現在に至っている。

あの不安と混乱の中にあつたからこそ、聖書に惹かれて信仰を持つことができた。振り返ってみると、当時と今の日本の騒然とした雰囲気とが良く似ているように思われる。



学生時代を思い出しながら、仲間と一緒に、年内50万部を目指して、黙々と毎日欠かさずキリストのトラクトをポスティングしている。郵便受けに入っている一枚のトラクト、一冊の小冊子を手にした方のキリストを信じるきっかけになることを願ひ祈りつつ。

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい」(テモテへの第二の手紙 四章二節)

「わたしたちは、わたしを遣わした方のわざを、昼の間に行わなければなりません。だれも働くことのできない夜がきます」(ヨハネによる福音書 九章四節)

五十嵐亜利沙(妻)による

育児日記

長男A君はお父さんと一緒に車で徳島県に行ってきました。徳島ラーメンがとっても美味しかったらしく、大人一人前を完食したとのことです。

女の子3人とお留守番をしている間は家中が本当に静かでした。

幼稚園で長女Kちゃんの面談があり、園での様子を聞くと、自分の意見をきちんと友達に伝えるようになっていて、友達の当たった手が痛いと言った「痛かった」と言い、その友達が聞いていないと、もう一度「痛かった」と言いにいくそうです(笑)。

Kちゃんと次女Rちゃんが通っているスイミングスクールに行くと、毎回楽しみにしているRちゃんが「プールいやだ」と珍しく泣いたので、コーチが抱っこして連れて行ってくれました。

レッスン中、三女のMちゃんと児童館で待っていると、スイミングスクールから電話がかかってくる、「Rちゃんが泣いていたのでコーチが抱っこしてプールに入ったら、そ

のまま眠ってしまったので、お迎えに来て下さい」とのことでした。

急いで行くと、爆睡していました。そのまま洋服に着替えさせました。どうやら眠かったようです。

Mちゃんは、少しずつ話せる言葉が増えて、兄弟の名前も言えるようになりました。

塀の中のたより

受刑者からこんなお手紙が届いています

近況報告

大阪のピーちゃんさん

四月から金属工場の指導補助になりました。作業を指揮したり、新入りの教育をしたりするのが主ですが、計算係や衛生係の仕事

を手伝ったりもしております。まさか自分が選ばれるとは思ってもおらず、本当に恐縮です。

受刑者は当然、私を含め犯罪者の集まりですので、ある意味一筋縄ではいかない人たちがばかりです。一般社会に適応できなかった者ばかりのため、それを上手くまとめていくのはなかなか大変なことでもあります。自分勝手なことを言う人も多いですが、頑張っているかと思っております。

こちらの施設では、昨年からテレビ電話面会ができるようになり、早速利用させてもらっています。受刑者なら誰でもできるというわけではなく、2種以上の身分の者だけが、特別に利用できます。4千円以上する2GBのプリペイドSIMカードを購入し、パソコンを通しての面会となるわけなのですが、相手方はパソコンでもスマホでも、カメラさえついていれば実施可能です。

アプリは、マイクロソフトのチームズを使用。私は弟とテレビ電話面会をしておりますが、弟いわく「LINEよりも高画質やな」とのこと。ただ、通信環境によって、使用時間が変わってくるらしく、30分間の面会をしようとしても、職員さんによると平均は2.5回分しかできないとのこと。

私の場合、2GBのカードでほぼ5回分の面会ができました。まるまる倍の差ですね。有難いことです。

ちなみに、テレビ電話面会も、通常の電話面会も、月に2回まで使用することができません。

私の残刑はまもなく1年台に突入しますが、出所後の就職先がほぼ決まりました。よく面会に来てくれる友人がいるのですが、その友人の父親が就職先を世話してくれることになったのです。職業訓練で取得した資格を活かして働けますので、とても有難いです。もう私のことも先方に話して下さっているようで、感謝の気持ちでいっぱいです。今までがずっといい加減な人生を歩んできておりましたので、社会復帰後は、社会に貢献できる人間を目指して努力していこうと思っています。

それから、姪に続き、もうすぐ甥が誕生予定です。一歳になる姪とは面会もしましたが、本当にかわいくて、私の人生観が変わるぐらいの愛しい存在です。この子たちのためにも、出所後は真面目に生きていきます。

最後になりますが、本当の意味での償いは、刑期中に被害者側の立場を理解することだと思います。それを感じ取ることができれば、どんな犯罪でも「次」は無くなると思うんです。

私が刑務所内で生活していることによつて、外で待っていてくれる家族は、常に肩身の狭い思いをしているに違いありません。心

にも相当の傷を負っているはずですが。服役している私より何倍も苦しんでいるのではないかと思います。同時に、同じ過ちは二度と繰り返してはならないなど、自身を向上して帰らないといけないな、と思っています。

「償い」と「幸せ」は比例していない

I 刑 T さん

この度、お手紙を送らせて頂いたのは、たよりに載っていた「痛めつける反省、受容する反省」を読んで、気持ちが痛いほど伝わり、共感したからです。

私は身内の命を奪ってしまいました。本当に、取り返しのつかない罪を犯してしまいました。時間が経てば経つほど、深い自責の念でいっぱいになります。時間も進んでいるのに、あの日から月日も経っているのに、心は止まっているようで、いつでもすぐ、あの時に戻れます。そして、「あの時に戻れたら……今の私だったら……」と何度思ったかわかりません。

今は、何故、罪を犯してしまったのか、原因と向き合い、もう二度と罪を犯さないため

にはどうしたらいいのか、勉強、そして自分と対峙している最中です。正当化しそうになる自分が嫌にもなります。

私はずっと、自分を痛めつける反省の中心にいました。律して、自分を責めて、自分をゆるせなくて：私は、幸せになろう、幸せになりたいと思う資格はない、思っではいけない、と思っていました。

矯正処遇日に、被害者感情理解指導があり、事件で娘さんを亡くされた方の講話を聞ききました。家族が私に思いを伝えてくれていたようにも思う内容でした。

その中で、この方は、もう二度と自分と同じ思いを人にさせたくない、だから加害者の私たちに、これからの人生、「真剣に生きてほしいこと」「周りの人を大切にしてほしいこと」「家族を悲しませないでほしいこと」、そして「償い」と「幸せ」は正反対に進むのではなく比例していいこと、幸せになってほしい、と言っ下さいました。こんな私でも、幸せになりたいと思ってもいいんだと思っせて頂くことができて、本当に胸がいっぱいになりました。

一番に、命を奪っってしまった被害者の方、家族が望んでいる自分になるように、今を大切に積み重ねていきたいと思っています。自分を受容することによって、人にも優しくなれるように思えます。自分をゆるせない、

人をも厳しく見てしまいがちだと思っました。

毎月送っ下さっている『百万人の福音』は、キリスト教初心者の私にとっても分かりやすく、心を救っ頂っています。

神様は、「する」のではなく、「いる」を大切にされる、私はいっいいんだと、思えまっした。いるだけいい、と言われたことがなったので、いっも何かをして認められるように、期待に応えなきゃと思っ続けていた私には、心が軽くなるような、救われる思っでした。

今、私は、経理工の計算工で責任ある作業をさせて頂っています。私は、何事にも言い訳をしないと決め、全ての選択は自己責任、一っひとつの言動に責任を持っ、実践させて頂っています。

刑務所は人間不信にもなります。長くればいるほど、冷静に見られるようになりまっし、聞きたくないこと、知らなければ良かつたことも耳に入っきます。理不尽なことだらけの中で、人がどうだ、こうだ、と言っがちですが、全て自分の心次第だと最近は思っいます。自分の心掛け次第で、見え方が全然変わります。気持ちも変わります。自分をしっかり持っっていないと、やっていけません。

社会で、人との境界線がとれていなかつた私は、刑務所に来て境界線を引けるようにも

なりました。私は、人に相談することや自分の思いを伝えることは苦手でした。これも原因は両親だと今は分かります。

刑務所に来て、相談して親身になって聞いっ下さる先生方のおかげで、相談してもいいんだと思っことができまっし、今まで相談することなく全っ一人で悩んでいたことも原因の一つだと分かりまっした。そして、自分の思いを言うのも苦手でしたが、今の担当の先生のおかげで、正直な思いを力まずに言えるようになってきました。

言葉にすること、後悔することもありません。そして、その後悔していることも伝えられた時、言った自分が「言っている」とビツクリするくらい、自然に言っていまっした。言って後悔したのは、人のことです。言った後、自分の中で、「子どもじゃあるまいし、自分で何とかなっることだし、自分が変わらなっといっけない、慣れることが優先だ」と思っからです。

人間なので、その時の感情によっても変わりますが、不平不満、愚痴は出てきます。あの人：と。でも、これでは人のせいになっ、自分を正当化してしまっます。何故、不平不満や愚痴を言ったいのか、を考えると、自っずと答えが見えてきます。あの人：、この人が、と人のせいになっ、内なる自分と向き合っ、自分の考え、やり方を変えること

で、変わることができ、色々な問題をクリアすることができました。

もう後悔する言動をとらないようにしなければ、と強く思います。ワガママにならないよう、甘えが出ないように、自分をコントロールしながら日々勉強させて頂きます。

ファイト！

Y刑 Hさん

文通相手のご紹介、素敵なご縁を有難うございます。早速、相手の方より便りが届き、大変楽しみにさせて頂きました。一般の方が受刑中の者と文通をするなど、なかなか決意できるようなことではないはずなのに、それでも参加を決意してくれた相手の方にも感謝の気持ちでいっぱいです。十人十色、良くも悪くも色々な色の受刑者がいる中で、社会一般の方と、私たち受刑者とを繋いで下さり有難うございます。

MLPの趣旨である「真心の手紙」という気持ちを忘れずに、「やっぱり犯罪者なんだな…」などと決して思わせてしまわないように、礼を失することはしません。相手の方への感謝の気持ちがちやんと伝わるよう、心をこめたやり取りをさせて頂きます。

いつも、「社会の声」や「塀の中のたより」など、たくさんの方の声や意見などを読ませて頂き、とても為になっており、楽しみにしています。ただ、マザーハウスの活動について、社会の方、それから受刑者からも批判がある旨がよく載っており、とても残念に思います。

私事ですが、私は悩んだり気分が落ち込んだりした時などは、歌詞だったり人の言葉だったりに励みをもたらしています。それで僭越ながら、マザーハウスの皆さんにこの歌詞を捧げたいです。中島みゆきさんの「ファイト！」という歌の、「ファイト！闘う君の唄を 闘わない奴等が笑うだろう」です！

短歌

花田さん

父となら 空に輝く星さえも

「えいっ！」とジャンプして掴めそう

父となら どんな空でも躊躇せず

親子で歩む 倅せの道を

母からの文が届けば たちまちに

心と空へ虹がかかりぬ

塀の外のたより

出所者からこんなお手紙が届いています

「やり直す」気持ちが消えかけて

Sさん

この二年半、支えて下さり有難うございます。仮釈放しましたので、報告します。この期間、自分について考え、悩み、疑問、葛藤、不安、信じ切れない自分、逃げる自分、支えてくれる人たち、被害者、様々なことを自分なりに考えました。ですが、自分が改心できず更生に歩めているかは自信がありません。情けないですが。

良いように書いても本音は、出所したら何がしたい、食べたい、楽しみたい、と全然違うことを考えたりする自分が浅ましいです。正直、今頃こんなことばかり頭にあつて、焦り、恐怖をおぼえています。また、テレビを見て

汚く笑ったり、人を見下したり、汚い言葉を使って周りに流されたりと、あの時の「やり直す」という気持ちに嘘みたいに消えかけていて、本当に変わるこの難しさを痛感しています。

上辺だけの言葉で何を学んできたのか、と言われて当然だと思います。今回、更生保護施設に引受けをして頂けただけでも感謝なのに、色々と考えてしまいます。愚痴ばかり、結局自分のことばかり考えているので、学んだ聖書の教えを全く理解していなく、自分のいいように取っていたんだと改めて悔しくなります。



エイル・Nさん

出所して感じた現実

元・朱い彗星さん

先日、仮釈放で出所した後、一度電話にてご連絡させて頂いたものの、その後連絡をしなかったこと、大変申し訳ありませんでした。一度お伺いさせて頂こうと考えておりましたが、年明けすぐ私事でバタバタついてしまい、連絡しなかったこと、お詫び申し上げます。

年が明けてすぐ、就職活動を始め、私の母をはじめとした人たちのおかげもあり、三社ほどから内定を頂くことができ、私が「どうしてもこの会社で働いてみたい」と思っていた企業様からも採用して頂きました。今は研修中の身です。

飲食店やスーパー、病院等に、ユニフォームをレンタルし、汚れたユニフォームをクリーニングする会社で、私はそのユニフォームを各会社へ配送、回収するドライバーの仕事です。四十を過ぎて、この業界で全く未経験な私を迎え入れて頂き、感謝しかありません。正社員で使ってもらえるとは思っていません。だったので、頑張っただけでも早く一人前になるため、勉強の日々です。

私が出所して、まず感じたことがあります。それは、一度社会から弾かれた者が元に戻る

のは、本当に大変だということです。出所したという解放感なんて、一日で終わりましたし、刑務所の中であれだけ色々「食べたり遊んだりしたい」と思っていたにもかかわらず、いざ現実を目の当たりにしてしまうと、消えてしまいます。

まず出所して、住民税やら住所変更、国民健康保険、年金などの手続きが大変でした。

住民税に関しては、家族が手続きをしようとしたらしいのですが、本人でなくてはできないと言われ、手つかずで、出所後に収監されていた年の分はきっちり未納として利子がついていました。捕まった年から先の税金については、在監証明を提出し、全額免除とはなったのですが、未納分は十万円を超えています。

国民健康保険の手続きは最も面倒でした。私の場合、会社で社会保険に入っていたので、会社を辞めた時の離職票が必要でした。また、社会保険をやめてから出所までの期間の保険料を免除してもらうために、在監証明が必要でした。

年金は、あらかじめ免除の手続きをしていたので問題ありませんでした。

私は所内で、失効した免許証の再取得を行ったので、免許証の住所が住民票の住所と

違っており、免許の更新時にも一苦勞ありました。もし所内で免許の手続きをやっていた、出所後に免許証の住所が出所時の住民票と違う場合、免許証の住所変更が必要なので、そのために住民票を用意しなくてはなりません。ですが、その住民票を取得するために提出する身分証である免許証の住所がそもそも違うのです。「これで住民票を交付してもらえないのだろうか？」と心配でしたが、私の場合は特に何も言われず交付されました。

これから出所する人で、刑務所に入るまでにマイナンバーカードを作っていない人も苦勞すると思います。マイナンバー通知が来た時に私が住んでいた場所と、出所時に住民票がある場所の住所が違うため、申請時に在監証明が必要でした。

各種手続きだけでまるまる一、二日ほどばかり、一度社会から抹消された人が復帰するのは、大変な労力が必要でした。

釈放前教育では、その辺りの手続きについて全くと言って良いほど教えてもらえませんが、質問しても、「人によって手続きの中身が変わるから分からない」と言われました。少なくとも在監証明は、住民税、国民健康保険、免許更新、年金の手続きのため4部は必要でした。

釈放前の二週間は、ソワソワした気持ちや不安な気持ちで落ち着きませんでした。私

が出所前にやったのは、出てからの一週間で具体的に何をするのか、あらかじめ決めることです。恐らくこれを決めてスケジュールを立てておかないと、やらなければいけないことを放っておいてしまったり、ドラドラと時間が過ぎてしまったりするのではと思います。もちろん、自分のやりたいことを満たす予定も入れます。

そういった準備をしても、将来が漠然とし過ぎていて、わけが分からなくなる時がありました。

私の場合、一日目はまずスマホを手に入れ、親類全員に謝罪と出所を報告すること、そして、コンビニでスイーツを三千円までの金額で買うことを決めました。二日目は各種手続き、三日目は免許更新、と決めて動く目標が定まり、生活にメリハリがついたと感じました。

手続きを一つずつ片付けるたびに、社会に戻って来たんだという自覚や自信にも繋がったと思います。

私は受刑者であったことを人に話さず就職活動をしていましたが、その間中、ずっと人の目が気になり、知らない人と会うたびに、ものすごいエネルギーを使いました。

一時は人と会いたくなくなることもありました。

それでも自分の人生、自分の後始末をつけるのは自分しかいないですし、これも罰の一つと考えて前向きにやっていました。

就職に関しても、「何となく」や「どうにもならない」といったネガティブな感情は持たず、「どんなことをしても、やってやる」くらいの強い気持ちがあれば、割とすんなり成功するのではと感じました。

そんな私の下地ができたのは、マザーハウスの皆さんだけでなく、たよりに自分の状況や考え方を送ってくれた他の受刑者の方々のおかげでもあるのだと思います。通信をしていて良かったと心から感じています。

たしかに社会は、我々のような元受刑者に厳しいでしょうが、「できない」ことの多くは、本当にできないのではなく、「やらない」だけのことも多くあるのではと思います。私が順調すぎると思いかも知れませんが、色々と失敗もしましたし、心が折れそうな出来事も多くありました。それでもヤケにやったり不貞（ふて）腐れたりしなかったから今があると考えています。私は入所中、マザーハウスとの文通により何度も、「できることをする」「具体的に考える」「世の中甘くない」と教えられてきました。その言葉をスルーしていたら、上手くはいかなかったとも思います。

今まで以上の猛威をふるうオミクロン株ですが、自分の安全を守りつつ、皆様に感染が

広がらないように祈っております。私は5時出社なので、朝早く仕事に出て、夕方まで仕事をしており、お電話を差し上げることもできないので、せめて手紙だけでもと思い、筆を執らせて頂きました。

風間勇助理事による

刑務所アート展情報

テーマ決め会議レポート

■7月17日に、キックオフとなる会議「刑務所アート展、公募のテーマを考える」を開催し、マザーハウスの当事者スタッフ8名と、他4名が参加しました（以下、Prison Art Japan ホームページより転載）。

刑務所の中で表現活動がある意味って？

刑務所アート展の公募テーマを考える前に、まずは刑務所という場所で、その生活の

中で表現活動がどのような意味を持つのかを考えるにあたり、元受刑者の当事者でNPO法人マザーハウスの代表である五十嵐弘志さん、龍谷大学法学部教授の石塚伸一先生にお聞きしました。

五十嵐

刑務所の生活というと、まず朝はたしか6時25分の起床からはじまります。布団をたたみ、舎房着に着替え、顔を洗い、ご飯を食べ、そして工場へ行くのですが、その直前には点検という、刑務官が各舎房をまわって点呼をするというのがあります。工場に行くのはだいたい8時ごろになり、舎房着から工場での作業着に着替えますが、その時には身体検査があります。工場にいくと、全員で整列し、大声で通し番号を言って人数を確認し、安全規則を唱え、作業点検をし、作業に入ります。

午前一度休憩、昼に食事の休憩、午後にも一度休憩があり、その中で週に3回の運動、週に2回の入浴があります。自分達の舎房に帰るのが、午後5時少し前になり、少し早い夕食をとって、夕食後の午後6時からテレビ視聴があり、8時55分までが自由な時間（余暇時間）で、手紙を書くのもテレビを見るのもできます。土日作業はなく、テレビ視聴など、余暇時間として自由な過ごし方をします。そうすると表現活動をする時間というのは、土日が多くなるのではないかと思います。

ただ、外に出れるわけではないので、全て自分の頭の中の想像で考えないといけません。

石塚先生

今、五十嵐さんから表現活動をやれるのは「余暇時間」だというお話がありました。日本の刑罰は懲役刑が基本です。つまり、刑務作業に働くことが中心にあり、その働くことを全うするにはどのような環境が良いだろうか、ということを考えます。その時に、働くには「余暇」が必ず必要ですよ。今、社会にも当たり前にある働き方、つまり月曜日金曜まで9時～5時で働く、休憩時間は何時間、時給はいくらかといった時間を管理して働く社会は明治期に作られ、それに呼応するかたちで懲役刑も作られたのです。それは、社会に出ても「働く人」をつくるためであり、そのために決められた期間閉じこめて働くことを強制する場所が現在の刑務所です。

では、余暇活動は何のためにあるかということ、働くための環境を整えるため、基本は「改善・更生に役立つため」といわれます。F刑務所には「富士見」という文芸誌がありますよね。受刑者がつくっている文芸誌です。少年院では、非常に精巧な貼り絵があったりします。非常に根気と集中力のいる精神統一のような創作活動のようにもみえます。こうしたものは、改善・更生に役立つ余暇活動として行われているというのです。ですが、私は違う見方もあると思っています。誰でも子ど

もの頃、何も言われなくてもその辺に絵を描いたりしますよね。それはなぜか。何か描きたい、表現したいというのはとても自然な欲求で、結局、生きるため、なんじゃないかと思えます。受刑者たちも、改善・更生のためにやっているわけじゃないですよね。

ところで、みなさん、「気をつけ」の立ち姿勢をどのように見るでしょうか。動かないのだから、何もしていない楽な状態に見えますが、動かないために筋肉を使っていますよね。実は、体はぐらぐらと動いている方が楽なりラックスした状態です。体が動くことの方が自然で、「気をつけ」というのは強制的に止めているわけで、緊張した状態です。これと同じで、動けずに閉じ込めておくことというのは、それだけで苦しいものであり、それだけで十分に刑罰足りえるのです。動いていることが自然であるのと同じく、表現活動や創作活動というのもまた、人間の自然な欲求にもとづく行動で、自由刑がその活動まで奪うことはおかしいとは思っているので、この企画を通して生きている証、表現したいものを表現したのを見たいと思います。



一兵さん

刑務所の中の余暇活動って何してた？

ここからは、刑務所での服役経験をもつ当事者を中心に余暇活動で何をしていたかを聞いてみました。

Aさん

自分は将棋をやっていました。あと、字を書く時に手が震えるのを直したいと思っていたので、自己啓発の本などに書かれていることをノートに書き写すことをしていました。

Bさん

独居にいたことが多かったですが、漫画や週刊誌などを読んでいました。あと、自分も字が下手なので漢字の練習なんかをしてました。雑居にいた時は、やはり人がいるので、話をするのが多くて、将来出所したら何するかとか、そんな話をしてました。あとは、将棋。居室に必ず将棋やオセロなどがあったので、将棋をやる人は多いですよ。

五十嵐

日曜にNHKのど自慢が流れてたので、誰が優勝するかで賭けをしたりしました。日曜はアメ玉が配られる日で、それが賭けの対象でした。あとは、自分は高齢受刑者の養護にあたっていたので、余暇の時間であってもその対応をしていたりしました。読書は、消

灯後の時間にする「ヤミドク」というのをバれないようにやってみました。今は、早朝の読書は認められているらしいことは聞いていますが、周囲で多かったのは、絵を描く人、詩や俳句を書く人もいました。外にいる支援者を頼って、一般の公募展に応募する人もいました。

Cさん

まずはテレビを見るのが多かったです。周囲では、囲碁・将棋はやっぱり多いですね。賭けをする・しないは問わず。あとは、自分のところでは、運動の時間にカラオケができましたよ。講堂で。自分はやりませんでしたけど、カラオケやる人もいましたね。

Dさん

自分は、先ほどお話にあったような所内文芸誌の編集委員をやっていました。自分自身も俳句を一生懸命やっていて、講師には非常にきびしい先生がいて、それでも楽しくやりました。

Eさん

自分は印刷工場にいたので所内文芸誌の印刷をしてました。あとは、囲碁クラブに入っていて、けっこう強くなりまして初段ちかくまでなりました。大会があって、そこで優勝もしました。

Fさん

私は読書してました。同じ部屋の人に借りたりもして、読書ぐらいしかすることがなくて。雑居だったので、一人で何か集中してつてことも難しかったので、横になったふりをして考え事をしたりとか。

Gさん

自分は自身がクリスチャンであることもあり、神学や哲学の本を読んでいた。でも、難しくわからないことも多かった。それでも、ノートに書きながら本を読んでいた。自分は、絵の学校にも通い、今でも描くことはあるのですが、中では道具がなかった。で絵を描くことはしていませんでした。アイデアなんかをノートにメモしたりはしましたが。

もし、刑務所にいたら何をしていたか

他の参加者（非当事者）も、刑務所にいたら何をしていたか想像してみました。

Hさん

今までの話を伺って、読書くらいしか、自分ができることはなさそうだなと感じました。今回の公募展も、はたして何か表現を考えてもらう、そうしたこともできる環境なのだろうかと考えてしまいました。

Iさん

自分は、職員として刑務所で働いていたことがあります。再犯防止の指導などの関係で、普段の受刑者たちの生活はあまり知りませんでした。

Jさん

先ほど、五十嵐さんのお話のなかで、一般の公募展に応募するには、外の人を頼って応募しなければならぬと伺って、この企画がそうした助けになるといいなと感じました。

公募展のテーマを考えよう！

それではいいよ、公募展のテーマについてアイデア出しを行いました。

Kさん

「出所してから何をしたいか」「自分の未来像」なんかは考えやすいんじゃないでしょうか。

Cさん

「今までの人生で一番楽しかったこと」「楽しかった時期」はどうでしょうか。誰にでも一つはあると思うので。

Dさん

独居の生活で俳句を書くなかで、内装の作

業をしていたのもあり、「空に浮かぶ雲」や

「木」といった風景をよく見ていたので、そんなテーマを考えました。

Fさん

「子どもの頃の思い出」はどうでしょうか。

Lさん

自分だけで取り組めることがいいと思います。

Hさん

コロナで誰もが動けない状況でしたし、そのことと受刑者が置かれた同じ動けない状況を考えると、「行ってみたい場所」やそこにいく移動手段などはどうでしょうか。

Iさん

自分は職員として勤めてた経験から「恥」や「不安」といったものを考えました。



大阪のピーちゃんさん

「ずっと幸せな人なんていない。

みんな一生懸命努力して幸せ

になっている」

Mさん

私は、自分がどんなものを見てみたいかという視点から、「原点」ということを考えました。子どものころのことや、今までの人生でいろいろなお話があったでしょうけれど、今も変わらずにもっているものなどがいいかなと思います。

Jさん

私は「自分」というテーマを考えました。それは、私自身が自分を知っていく作業や過程に興味があるからです。

Gさん

「聖霊」というのを個人的にはテーマにしたいですが、今日のお話のなかでは「今日一日」というのがいいのではないかと思いました。

石塚先生

「あの夏の日」。ただ、絵なのか、詩や短歌といった書くジャンルと、何をメインに集めたいのかによっても違うかなと思いました。

Aさん

「恋愛」。悪いことをした人でも「恋愛」つてするだろうし、人生に彩りが加わるものだと思います。先ほどIさんの「恥」といったテーマから連想して「ダメな自分」っていうテーマもいいなと思いました。

Bさん

自分も「出所後の生活」というのはよく考えてみました。

風間

自分は「日常」というテーマを考えていました。それは、今ある刑務所の日常生活でもいいし、自分が失ってしまった日常でもいいのですが。海外の事例では、先ほどあったような「自身の未来像」や「待っている人」といったテーマもありました。

五十嵐

将来の「希望」、出所後の「夢」っていうのがいいかなと思います。

向き合いたいのは過去？未来？

これまで出てきたアイデアから、いくつかの方向性があるように思いました。一つの大きな傾向は、やはり自分と向き合うテーマ案ですよね。それは、あらゆる表現が自分自身を知ることにつながるので、「行ってみたい場所」をテーマにしても、そこにその人らしさが出たりします。

もう一つは、「子どもの頃の思い出」や「人生で一番楽しかったこと」「あの夏の日」など、自分の過去を思い出すことか、「出所後の生活」や「希望」「夢」「未来の自分像」といっ

た未来を考えるものの違いです。どちらが

いいということではないですが、こうした方向性の違いについても一度みなさんから意見をもらいました。

Aさん

風間さんの話を聞いて、刑務所にいる時はつらい現実がそこにあるから、何かを書いてる時間くらいは楽しい時間であってほしいから、自分は未来のことをテーマにする方がいいかなと思いました。

石塚先生

難しいですね。過去も今も未来も、同じ線の上にあるわけですよ。過去だからといって後ろ向きなわけではなく、それを見ているのは今なので、それは前に向かっていく視点でもあるはずですよ。未来を見なさいって言われるのは時にしんどいかもしれません。未来に向かう、何かしらの方向性を示してあげると考えやすいのではないのでしょうか。

Cさん

自分は未来を考えたいです。未来に希望を持って欲しいという自分の思いがあるからです。

Jさん

自分は「恥」というテーマに興味をもちました。私も、過去をみることで未来につなが

ていく視点もあるかと思ったので、未来か／過去かという二択ではないのかなと思います。

Mさん

表現を促せるテーマは「あの夏の日」という、より具体的に幅を持たせられるテーマかなと思います。

石塚先生

「あの」というのは、相対的につくられるものなんですよね。今、床にペンを2つ置きました。自分に近い「この」ペンがあるから、自分より遠くにあるペンは「あの」ペンと呼ぶことにあります。裁判官の視点は、このように時系列的で立ち位置も固定的ですが、自分自身がどこに立つかによって、「この」「あの」は入れ替わることもあるし、向く方向が過去にも未来にもなります。

Iさん

自分は断固「過去」派です。そんなに未来って考えられるでしょうか。職員の経験としては、過酷な現実に晒されている人たちを見ていたので、自分としては、過去の自分から考えてみるのがいいかと思いました。

Hさん

マザーハウスが主催するなら、「未来」を考えるとというのがいいとも思ったんですが、

今のお話も聞いて、未来のことを考えられない状況にある人もいて、さまざまだと感じました。考えられないながらも、こちらから働きかけることで少しでも「未来」のことを考えてみて欲しいという思いもあります。

Fさん

自分は過去のことなんですけど、子どもの頃とか誰でも経験として持っているものの方が考えやすいかなって感じただけです。

Eさん

自分は、年齢も年齢で、未来のことを言われても考えられないので、過去の失敗を考えながら少しでも良くなっていったらなと思います。

Dさん

お気に入りの場所があって、そこに行くのがんばれる場所なんですけど、そういう気持ちになれる場所のことを思い出したりすると、書く人も元気が出るのかと思いました。

Cさん

自分も、過去の一番楽しかったことを思い出して、その頃のことを大事にこれからの人生、未来に向かっていきたいと思っていますので、過去か未来かと言われてしまうと、過去になるのかなあと。

五十嵐

修復的司法を提示したハワード・ゼアさんは、過去の自分との和解が大事だと言ってますよね。過去の自分との出会いがあり、和解ができることで未来がみえてくると。過去いえるんなことがあって、そのことで「あなた何やったんですか？」って行政の人とかに言われ続けていると、それは嫌だなと思います。ずっと過去のことを引きずり続けるよう。自分自身で向き合う分には、過去も未来も両方大事かなと思います。

風間

過去か未来かで多数決をするつもりはなかったのですが、見事に半々ですね。みなさんのアイデアを参考にしながら、持ち帰って私の方で考えさせてください。

そもそも募集できるの？

風間

今、公募展をできる前提で話してきましたが、五十嵐さんにお話を聞いてみると、実はいろいろ困難なことがあるようです。例えば、応募用紙として画用紙一枚を同封することも、どうやらできないらしいのです。いったいどのようにして紙やペンなどを入手してもらうのか、そうした助言も募集案内には含まないといけないかもしれません。

五十嵐

画用紙は、自主学习願を出すことで手に入れます。自主学习をしたいので、画用紙を購入したいと理由を書いた願箋を出し、許可が降りれば特別購入願いで画用紙を購入することになります。それを外に送ることも、手紙への同封許可願が郵送宅下り願というものを出すことで可能です。マザーハウスにもいくつも絵が届いています。刑務所の中で本人が画材を入手したりはできるけれど、こちらから送ってあげることにはできないんですね。法務省関係者に聞いた話では、色紙は入るみたいです。なぜかわからないですが。

石塚先生

今お話にあったようなことを、募集案内に書いてあげればいいですよ。あるいは法務省側に協力をあおぐというのもありかもしれない。こういう展覧会をやりたくて募集したいんだと。

風間

やぶ蛇ではないですが、聞いたらシャットされてしまう可能性もありますよね。

石塚先生

ありますね(笑)。トラブルが起きることは悪いことではなくて、トラブルが起きても、なぜできないのか、ということ争ってけばいいわけです。

五十嵐

刑務所で購入できる物品の中には、画用紙も半紙もともとあるので、特別購入願いで必ず購入はできる。その時に、自主学习願いという許可をとらないといけないだけなんです。

石塚先生

余暇の時間で「改善・更生に役立つ」ってことで自主学习を認めないといけないと。

Cさん

絵画クラブに入っている人や、絵画を居室で描くことの許可を求める願箋みたいなのがあって、その許可が通ってる人は居室でも描けます。

風間

こちらから応募用紙を送る方法として、画用紙はダメでも、白紙のコピー用紙もダメなんでしょうか？

五十嵐

以前に名前の書いていないポストカード(発信ができる白紙のポストカード)は通らなかったですね。

石塚先生

基本的に、通信か宅下げ・差し入れかという回路があって、宅下げや差し入れはチェック

クがきびしい。通信(手紙)であれば、アンケート調査もやれましたよね。画用紙も送ってみちゃえば？

風間

詩や短歌、エッセイなど文字ベースのものは通信、手紙の中でできますよね。絵だけが課題で。ただ、応募用紙があると、字数制限などを設けることなく、この応募用紙の範囲でといえるので、その良さはあるのですが。

石塚先生

今回作品を集められたとして、受刑者の方にもどんなふうにして応募ができたのか、アンケートのようなものをとると良いですね。次回からの改善につながります。

賞品はなにがいい？

五十嵐

石鹸やノートなど、刑務所の中で購入できる物品リストにあるものは、自分で入手しろということ、差し入れができなくなりまして。郵便小為替は入ります。

石塚先生

現金っていうのは、なんか印象が悪いよね(笑)。

Dさん

刑務所がやっている文芸作品コンクールの賞品は、図書券でした。受刑中は使えず、出所時にもらえるものでした。

五十嵐

切手も送ることはできますし、受刑中も使うことができます。

風間

色鉛筆とか、便箋とか、そういうものは入らないんですか？

五十嵐

入らないです。

風間

ご希望の書籍を聞いて、本を送るのはどうですか？

五十嵐

それは大丈夫だと思います。今もできている差し入れなので。

受刑者から届いた手紙

五十嵐

今回、こうした刑務所アート展で公募をすることを、事前に受刑者に知らせたところ、

お手紙をもらうことができました。紹介させていただきます。

「文芸展の企画を知り、嬉しく思いました。私は音楽が好きで、その歌詞に心を動かされることがあり、思いのこもった表現には人の心を動かす力があるのだと信じています。自分でも詩を書いていきます。この企画が実現することを願っていますし、私も応募に挑戦しようと思っていますが、ペンネームの使用について、私のいる施設では、ペンネームの応募ができません。以前、ペンネームを用いた際、強制で黒塗りにされ、「匿名」と書かれることがありました。」

このように、受刑者たち自身も表現することを大切に思っています。できないこともいろいろ多いですが、出所した人も含めて、多くの人に応募してもらいたいです。

Aさん

自分は最近、人前で話すことなど自己表現をすること、そういう場所をもらえること、ですごく元気になるので、この企画がいろんな人に元気を与えられたらいいなと思いました。

Hさん

今日参加してみて、自分は刑務所のことを全然知らなくて、通信と差し入れでも違いがあるとか、できないことの多さにも驚きました。

Jさん

今日は、多くの当事者の方がいらっしやうて、自分はそうではないんですけど、もっとそうした非当事者の方もこのプロジェクトで輪が広がっていくといいなと思いました。

五十嵐亜利沙（妻）による

ラブリイDAYS

家族と当事者Sさんとその彼女で海に行ってきました。

去年は波を怖がり海に入らなかった子供たちですが、今年はプールを習い始めたので、怖がらずに沖に行こうとしては波に流され、私はひやひやしていました。子供たちはSさんが一緒に海で遊んでくれたのがとても楽しかったそうです。私は海で飲むビールがとっても美味しかったです！



看護師 中谷先生による

健康相談窓口

対人関係28のルール

皆さんこんにちは。暑い日が続いています
が、体調はいかがでしょう？熱中症対策を
行いながら、今年の夏も乗り切っていきま
しょう。

私事ですが、今年の夏は、7年ぶりに一か
月半の夏休みを頂けます。休みといっても、
大学へは行ったり行かなかったりですが、自
分の研究のために時間を使うことができま
す。コロナ禍の皆様からの貴重なご意見を論
文にまとめる時間に使っていこうと考えてい
ます。また、せっかくの夏休みですので、奄
美大島で、海など自然と戯れたいと思ってい
ます。

今回は、前回の続きで、「対人関係28の
ルール」をご紹介したいと思います。全てを
網羅するのは難しいので、独断と偏見により、
6個にまとめてみました。

ルール1…相手に「自分は重要な人間だ」と
思ってもらおう

人を褒めると、相手からは共感力や理解力
のある魅力的な人に見られやすいことが研究
で示されています。

どの人にも必ず良いところがあります。相
手の行動を褒める言葉が、一番説得力がある
とされているので、「人に教えるのが上手だ
ね」「その細かい作業、とても丁寧だね」など、
相手を褒める言葉を会話に取り入れてみて下
さい。また、相手の名前も会話に取り入れる
と、自分のメッセージがより伝わりやす
い。

褒められた際は、素直に受け取り、お礼を
述べて、嬉しい気持ち伝えましょう。

ルール2…「聞き上手」になる

聞き上手は、話し上手以上に重要です。しつ
かり相手の話が聞ける人は、誰よりも信頼さ
れます。相手の話を引き出して、別の言葉で
表現していくと、とても会話が弾みます。そ
のためにも、相手の目を見て、少し身を乗り
出すと、よりアピールできます。

反対に、聞き上手は質問上手でもありません。
質問を積極的にしていくと、より深く関わり
を持つことができます。

ルール3…「ありがとう」と言う

施設内でお礼を言う機会は少ないかも知れ
ませんが、刑務官や同囚に対して、必要な場
面では、はっきりとお礼の言葉を述べるよう
にしましょう。

ルール4…相手に「共感」する

たいていの方は、自分のことや置かれた状
況について、他人の共感と理解を得たいと
思っています。そのため、相手が言ったこと
を批判・非難するのではなく、まずは同意し
ましょう。そして、その意見は一つの意見と
して尊重しましょう。

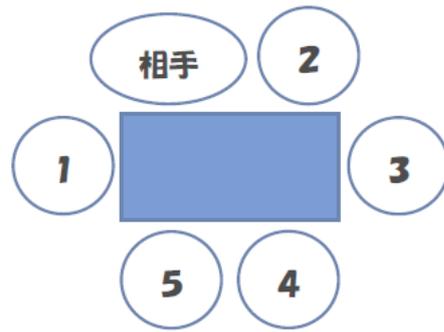
世の中には色々な考え方の人がいます。自
分が全て正しいと思わず、どんな人の意
見にも耳を傾けようと心に決めて下さい。自
分が間違っているときは、意地を張らずに、
素直に認めましょう。素直が一番かっこいい
です。

ルール5…ネガティブな言葉をポジティブに

相手を傷つける批判的な内容も、言葉次第
で前向きな褒め言葉に変えることができます。
人の失敗を責めるのではなく、努力やチャ
レンジを褒めましょう。

ルール6…面談のベストポジション

これから社会へ出られる方は、是非、コミュニケーションの立ち位置としてどの場所にいるのが良いか、知っておきましょう。



① コーナーポジション

フレンドリーでカジュアルな会話をする場合に座ると良い位置。

② 協調的ポジション

他人と協力して仕事にあたることを求める場合に座ると良い位置。

③ ④ 一人で考えにふけるポジション

相手との関わりを避けるときに取る位置です。相手に何かを伝えたいときには、この席を選ばない方が良いでしょう。

⑤ 競争的・守備的ポジション

テーブルは、あなたと相手のどちらにとっても強固な壁になります。相手の反対側に座ると、守りの構えをとることになり、「受けて立つ」といった雰囲気生まれます。

回復プログラム 実践

- 「回復プログラム係」宛にお手紙で回答を送って頂ければ、スタッフより個別に返信致します。現在、順番に返信させて頂いております。
- 事務局やフランスコ等、他のお手紙との同封はせず、個別に「回復プログラム係」宛に送付して下さいますようお願い致します。

【第四回目】

☆自分の経験を振り返り、時代別に自分を知る（～五歳まで／～十歳まで／～十五歳まで／～二十歳まで／～今まで）。

1. それぞれの年代で、「いちばん楽しかったこと」は何か。
2. それぞれの年代で、「いちばん苦しく、辛く、悲しかったこと、傷ついたこと」は何か。
3. それぞれの年代で、「親から頂いた、受けたもの」は何か。
 (例) 善いこと：肯定された、頂いた、愛された、一人の個人（人間）として認めてくれた。自分でものごとを考え、判断し、決断し、自由に実行できたか。
 (例) 悪いこと：否定された、批判、非難、無視、怠惰、無関心、相手にされなかった、認められなかった、虐待された（言葉で、行為で）。何をすることも親の許可が必要だったか、親の干渉があったか。

専門インストラクター ニロ先生による

プリズムアート倶楽部



★このコーナーは、絵画の模写を体験するもので、絵画技法の習得を目指すものではありません。模写（アレンジOK）の投稿を募集中です。
★当技法についての詳細を知りたい方、また、作品発表等について考えている方は、規定が設けられているため必ずご相談下さい。

向日葵の種入りクッキー

【描き方のコツ】

私の学校の同級生に、とてもお料理の上手な男の子がいました。学校のお昼時間には、自分で作ってきたという、向日葵（ひまわり）の種入りクッキーをみんなにご馳走してくれたり、作り方を教えてくれたりしました。

その頃は良く知りませんでした。ひまわりの種はとも栄養が有るそうなので、今では、シリアルなど、健康食品にも良く使われていますよね。皆さんも、ひまわりの種の思い出はありますか？

それでは、準備ができたなら描いてみましょう。お花の顔は、まるを大きく描いて、スマイルの様に口の形を描きましょう。ひまわりの葉っぱも丸みをつけて、大きく描いて下さい。小さなひまわりの花の中心は、種が見えていますので、細いペンで種のつぶつぶを描いてみましょう。クッキーは、ご自身が知っている形のクッキーを、好きなだけ描いて下さい。なみなみの形のクッキー、丸いクッキー、四角などなど、描いてから、胡麻の様なつぶつぶをお好みで描いて下さい。
ひまわりが良く育つイメージで、太陽も空に描いてみて下さい。夏の暑さを忘れられる様な、楽しい気持ちで描きましょう。

形は、ハンドペイントの良さを生かして、不揃いでも、何でも構いません。見本の絵と全く同じではなく、アレンジして、楽しく描いて下さい。

絵は、自分の中のイメージを表現する事が大切なので、自由に、楽しみながら、表現して下さい。

文通をされている方は、見本の絵を色々アレンジして、便箋や封筒に描くと、楽しく可愛いアクセントになりますので、ぜひお試し下さいね。

【補足】

ボタニカルファインアート技法とパステルアートのコラボレーションで描いていますが、ボールペンや鉛筆等、入手し易い文具で描いて下さって結構です。

ボールペンは、PILOTの細いペン等が推奨されていますが、描きやすいと感じるもので良いと思います。

鉛筆は、形が見やすいように、B以上のもので濃く描くと、質感も柔らかく、描きやすいです。HBやH等ですと、固い質感の為、描きにくいかと思えます。

行事予定

▼8/20 14:00～

聖イグナチオ教会ヨセフホールにて、
文通講座「刑務所における手紙とは」

▼8/26 18:00～

マリアカフェにて、APS 研究会

▼8/31 19:00～

Inter7 ミーティング

▼9/5 18:00～

通信簿研究会

▼9/11 10:00～

山口県弁護士会シンポジウム

ご支援 誠に有難うございます！

〈2022年5月1日～6月30日〉

寄付金：381,500円

※今号発行時点で、寄付金として集計した分です(愛のプリズム募金を含む)。

編集後記 by 編集局

今月号もお読み頂き、有難うございます。

以前から「出所者の声を知りたい」とのお手紙をよく頂いていたのですが、今回ようやく「塀の外のたより」としてご紹介することができました。引き続き、出所した方からのお手紙をお待ちしております！

また、寄付金コーナーが復活しました！

お知らせ

○MLP ペア決め現状：受刑者側の希望者よりも文通ボランティアが少ないため、文通相手がない受刑者を優先しております。文通相手の追加を希望する受刑者は、お待ち下さい。ただし、すでに2人以上文通相手がいる受刑者には新しくご案内できません。

○冊子 NEXT は、寄贈の終了に伴い、毎月のたよりへの同封も終了となります。

○フランシスコ事業部は、会費を全額納付された方のみのご利用となります。フランシスコ事業部を利用しない方は、会費の分納が可能です。

なお、マザーハウスに送られた切手やお金は返還できません。あらかじめ資料をよく読み、計画的に送られるよう、何卒お願い致します。

○下記に当てはまる場合は、事務局までお知らせ頂きたく、宜しくお願い致します。

- ・突然たよりが送られなくなった。
- ・刑期(出所日)が変更になった。

- ・入会申込書もしくは会費を送った後、2か月が経っても、マザーハウスから何も届かない。
- ・聖書(寄贈された中古のものです)の送付を希望する(送料800円分が必要です)。

○会費やフランシスコの費用を切手で納める場合(84円以上の切手のみ使用可)は、1枚につき現金交換手数料5円がかかります。

(例)100円切手×5枚の場合：500円－手数料5円×5枚分＝受領額475円

○絵画を獄中 POST シリーズへ応募する際は、その旨を都度、ご明記願います(明記無い場合には、たよりでのみ掲載となります)。

○たよりでは、投稿文以外の普段のお手紙から抜粋して掲載することがあります(受刑者の皆さんは、入会申込書に同意欄があります)ので、「掲載してほしくない」というお手紙・絵画につきましても、都度「掲載不可」と明記して頂きたく、宜しくお願い致します。

マリアコーヒー (ルワンダ・コーヒー)

♪製造から販売まで、元受刑者が携わっております。

FAX: 03-6659-5270

メール: maria_coffee@motherhouse-jp.org (QR →)

価格: 粉200g または 豆200g …… 972円 (税込)

カフェドリップ10g (1回分) …… 108円 (税込)



☆継続して購入・販売してくださっている皆さま (順不同) ☆

カトリック茅ヶ崎教会/カトリック北仙台教会/カトリック所沢教会/カトリック浜松教会/カトリック東山教会/カトリック布池教会/カトリック菊名教会/カトリック中和田教会/カトリック新子安教会/カトリック碑文谷教会/カトリック桃山教会 (平和環境部)/カトリック東仙台教会/カトリック春日部教会/カトリック足利教会/カトリック神田教会/カトリック太田教会/カトリック大分教会/カトリック西千葉教会/カトリック下井草教会/カトリック新潟教会/カトリック多治見教会/カトリック芦屋教会/カトリック鷺ノ宮教会/カトリック松戸教会/ドン・ボスコ社/クリスト・ロア宣教修道女会/日本カトリック神学院/聖母訪問会



☆ルワンダの祈り☆



ルワンダでは、1994年、フツ族によるツチ族の大虐殺がありました。史上稀に見る残虐な内戦によって、ルワンダの人々は心身ともに非常に深い傷を負います。

しかし内戦終了後、恨みや憎しみから、復讐が復讐を呼ぶ状況に陥りかねない中、ツチ族の人々は、復讐ではなく、和解と共生を選択しました。マリア・コーヒーは、この和解と共生の地から届けられた生豆を使用しております。

マリアの紅茶

♪オーガニックの純スリランカ産のセイロンティーです。

FAX: 03-6659-5270

メール: maria_coffee@motherhouse-jp.org (QR →)

価格: 50g (2g入り25袋) …… 756円 (税込)

オンラインでのご注文: <https://mariacoffee.shop/> (QR ↓)



マザーハウスたより 22'08月号

発行日: 2022年8月15日 発行責任者: 五十嵐 弘志
〒130-0024 東京都墨田区菊川1-16-18-3F NPO法人マザーハウス



↑ 理事長 Facebook ↑ 理事長奥さんブログ ↑ MLP 問合せ

ラウレンシオ (便利屋業)

♪元受刑者の就労支援の一環として、不用品処理、遺品整理、掃除などをさせていただきます。お見積りは無料です。

(2020年12月より、株式会社ルツに移行しました。)

TEL: 03-6659-2110 / FAX: 03-6659-2180

メール: info@ruth-llc.co.jp

獄中POSTシリーズ



♪獄中ボランティアが描いた絵画類を、ポストカード等に印刷する企画です。

メール: motherhouse.tayori@motherhouse-jp.org (QR ↑)

価格: ポストカード …… 1枚300円 / 3枚800円

シール …… 1シート800円

ホームページ: <https://motherhouse-jp.org/project/goku-pos/> (QR ↓)

☆詳細はホームページのカタログをご参照下さい。

☆収益は特に、身寄りのない方の住宅支援に充てられます。



古本募金 (きしゃぼん)

♪書籍やDVDを下記にご寄付頂くと、マザーハウスに還元されます。

送り先: 〒358-0053 埼玉県入間市仏子916

マザーハウス きしゃぼん係

(マザーハウス事務所に送らないようお願いください)

TEL: 0120-29-7000

お問合せ

いつも有難うございます。随時ボランティアの方を募集しております。

TEL: 03-6659-5260

メール: info@motherhouse-jp.org (QR →)

ホームページ: 「NPO マザーハウス」でご検索ください。(QR ↓)



ご支援

☆正会員 (一口5000円/年) ☆賛助会員 (一口3000円)

☆社会復帰支援 (ご寄付) を随時募集しております。

→振込口座名: 【トクヒ】マザーハウス

郵便振替口座 … 00170-0-586722

みずほ銀行 … 新宿支店 普通口座 2376980

※必ず、info@motherhouse-jp.org宛に内訳をメール願います。

☆洋服等の物資の送付先:

〒130-0024 東京都墨田区菊川1-16-18-1F マザーハウス

(TEL: 03-6659-2110)